

高松サポート合同庁舎記者クラブ
高知県政記者クラブ

平成29年11月2日
四国地方整備局
四国山地砂防事務所
高知県
安田町
馬路村

関係9機関が参加し、大規模土砂災害を想定した 合同対応訓練を実施します。

台風による豪雨時や南海トラフ地震時に発生が懸念される大規模土砂災害に対し、関係機関が連携し被害の軽減を図るため、関係機関9機関による合同対応訓練を実施します。

訓練は国土交通省のみならず、気象庁、自治体、消防、警察、公共交通機関（土佐くろしお鉄道）など、実際の災害時に関係する機関が集まることにより、より実態に近い形で連携を確認することを目的に実施します。

1. 開催日時

- 平成29年11月7日（火）13:00～17:00
【受付開始12:30】

2. 開催場所

- 「安田町文化センター 1階 多目的ホール」
（高知県安芸郡安田町西島40-2）

3. 参加機関

- 四国地方整備局（河川部、四国山地砂防事務所、土佐国道事務所）
- 気象庁 高知地方气象台
- 高知県（危機管理部：危機管理・防災課、土木部：防災砂防課、河川課、安芸土木事務所）
- 安田町、馬路村
- 中芸広域連合消防本部、高知県安芸警察署
- 土佐くろしお鉄道
- 四国山地砂防ボランティア協会

4. その他

- 記者席及び傍聴席を用意していますので、ご自由に見学いただけます。（事前申込み不要）

本施策は、四国圏広域地方計画「No.1南海トラフ地震を始めとする大規模土砂災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

問合せ先（○：主たる問合せ先）
国土交通省 四国地方整備局 河川部 河川計画課 TEL:087-851-8061
課長補佐 中塚 光（なかつか こう）
国土交通省 四国地方整備局 四国山地砂防事務所 TEL:0883-72-5400
○副所長（技術）白石 隆（しらいし たかし）
調査課長 平澤 良輔（ひらさわ りょうすけ）

平成29年度 大規模土砂災害を想定した合同対応訓練

1. 訓練日時

◆ 平成29年11月7日 12:30～17:00

2. 訓練会場

◆ 安田町文化センター 1階 多目的ホール

高知県安芸郡安田町西島40-2

3. 参加機関

- ◆ 国 : 四国地方整備局 河川部
四国山地砂防事務所
土佐国道事務所
気象庁 高知地方気象台
- ◆ 高知県: 危機管理部 危機管理・防災課
土木部(防災砂防課、河川課)
安芸土木事務所
- ◆ 安田町: 総務課、経済建設課、町民生活課
- ◆ 馬路村: 総務課、産業建設課、健康福祉課
- ◆ 中芸広域連合消防本部
- ◆ 高知県安芸警察署
- ◆ 土佐くろしお鉄道
- ◆ 四国山地砂防ボランティア協会

4. スケジュール

12:30～13:00	集合・受付、アンケート記入
13:00	開会
13:00～13:05	開会挨拶
13:05～13:15	訓練の進め方の確認
13:15～16:30	学習型訓練
16:30～16:45	ふりかえり・意見交換(アンケート記入)
16:45～16:55	全体講評
16:55～17:00	閉会

5. 訓練の目的

- 1) 土砂災害防止法ならびに災害対策基本法に基づき、**河道閉塞**や**地すべり**の発見から**住民避難および解除の判断**等までの一連の流れの中で、各機関が果たすべき**責務・役割**について確認すること。
- 2) 各機関の**役割分担**を把握し、現在の**問題点**を把握することで各機関間の**連携強化**につなげるとともに、大規模土砂災害に対する**知識の醸成と意識の向上**につなげること。

6. 学習型訓練とは

進行者

訓練参加の各組織をひとつの災害対策本部、もしくは災害対策支部と見立て、それぞれに質問する。



「〇〇で大規模な崩壊が発生し、△△の状態になっている。」との報告が入りました。あなた方の組織では、どのような行動をとりますか？

回答者を特定して当てることはしない、あくまでも訓練参加組織に対して質問し、組織として回答する。

訓練参加者

質問内容に応じて、訓練参加組織内での回答者を決め、発表を行う。



私たちの組織では、〇〇を第一に考え、〇〇を行います。

回答者は与えられた設問に対して、その場で考え、すぐに回答する(周囲から助言をしても良い)



徳島県美馬市(平成28年度)における合同対応訓練の様子

学習型訓練の特徴

1. 訓練シナリオ(訓練の進行状況)の理解	進行者がある都度状況説明を行うため、 全員が同じ状況を認識、共有、理解 できる。
2. 他機関の災害対応の理解	各機関の回答を順番に聞くため、 他機関がどのような対応 を行うか理解できる。
3. 時間軸	進行者が状況をその都度説明し、時間軸にとらわれず、 重要な場面等を切り出して訓練 を実施できる。
4. 見学者の理解	参加者と同様に状況説明や回答を聞いているため 参加者と同程度の理解 ができる。途中から見学してもある程度理解できる。